(第二版)　(明治卅一年五月九日第三種郵便物認可)　昭和十六年一月二十二日　(水曜日)　臺灣日日新報　第一万四千六百七十九號　(一)

臺灣昌新報(夕刊)
一月二十一日
作荷人行發兼編輯 江口 榮
地第二番日丁西町廿番地
社報新日日臺發所行

濃厚タン肝油粒
後藤ビタミン
台北 藤田本店

日ソ漁業暫定協定 妥結

【東京二十一日發同盟電話】豊田外相は二十一日の貴族院予算委員會の席上左記の如く答弁した

〝漁業問題に關しては漁業本條約改訂の爲の日ソ混合委員會設置並に取敢へず本年度漁業に關する暫定取極めにつき既に合意を見たやうな次第である

今朝七時調印

【モスクワ二十一日發同盟電話】過般來モスクワに於て交渉中であつた日、ソ漁業暫定協定は二十一日午前一時(日本時間二十一日午前七時)重光大使とモロトフ外務人民委員との間に調印を了した

情報局發表

【東京二十一日發同盟電話】日、ソ漁業暫定協定締結に關し情報局は二十日モスクワに於いて重光大使とモロトフ外務人民委員との會談申込で交渉を再開、二十日に至つて急轉直下妥結し雙方全權代表は同日午後十一時半頃クレムリンに於てモロトフ外務人民委員と重光大使とが會見仮調印を行つた結果、二十一日午前二時入つて調印を了したものである

漁業暫定協定調印次第

【モスクワ二十一日發同盟】日ソ漁業暫定協定は昨年十二月十三日交渉開始以來實に七回に及び押詰つた三十日に亘つても成立の見込が立たなかつたが、去る一月十七日モロトフ外務人民委員よりの會見申込で交渉を再開、二十日に至つて急轉直下妥結し重光大使は同日午後十一時半頃クレムリンに於てモロトフ外務人民委員と重光大使とが會見仮調印を行つた結果、二十一日午前二時入つて調印を了したものである

翼賛議會けふ再開

近衛首相重大決意披瀝

【東京二十一日發同盟】第七十六議會貴族院本會議は二十一日午前十時開會、午後一時二十五分から議事に入り、豊田外相の外交報告演説に對する質疑應答があつた、この日貴族院本會議は午前十時開會、近衛首相、豊田外相、松岡外相、及川海相、東條陸相、鈴木企畫院總裁、岩村司法相、小倉藏相、内閣書記官長、法制局長官、内閣情報部長等國務大臣總出席、傍聽席は滿員の盛況を呈した

先づ豊田外相は登壇、外交報告演説を以て再開された、次いで貴族院議長より前議事の經過報告があつた、次いで貴族院議長より議事進行に關する發言があつた、即ち議長は昨年末までの慣例に倣ひ議會會期の中に一定時間を設け、議員五ケ年に亘つて重要問題について質疑應答を行ふ樣にしたいと思ふが、この點について諸公の御意見如何と諮つたが、次いで貴族院議員中の外交調査會に屬する者より、外交調査會は從來の慣例により外交報告演説があつた場合には、その内容について質疑應答を行ふ慣例であるから、この際外交調査會を開いて質疑應答を行ふ樣にしたいとの發言があつた、次いで議長は外交調査會を開いて質疑應答を行ふ樣にしたいと思ふが、この點について諸公の御意見如何と諮つたが、次いで貴族院議員中の外交調査會に屬する者より、外交調査會は從來の慣例により外交報告演説があつた場合には、その内容について

眞に實戰に則應

二月中旬 臺北州下防空訓練

臺北州では州廳、警察官署、通信、電氣、瓦斯、水道の各職場並に臺北市、基隆市の各職場に於ける防空訓練を強化徹底する爲、二月中旬二日間を期し第二回防空訓練を實施する事となつた、今回の訓練は五年振後の訓練であり、且つ從來に比し訓練内容も一層實戰的に、訓練時間も長時間に亘り、警報發令、消防、救護、交通整理の各種基本訓練作業を徹底せしめ、以て銃後の本土防空を萬全ならしめ、且つ一般州民に對し防空思想および防空火災管理に關し認識を深めんとするにあり、區域は州下一圓である、警防團、防空監視隊、防護團、隣組、工場、事業場、學校、官公署、銀行、會社、寺院、神社、教會、劇場、映畫館、料理店、飲食店、百貨店、市場、旅館、病院、其の他一般州民全般が參加し、訓練は晝夜

家庭

天下の名物を探る
諸國に榮えたその起原は（上）

味噌

岡崎の八丁味噌、仙臺味噌、信州味噌などいろいろあるが、味噌出現の地は實に豊である。

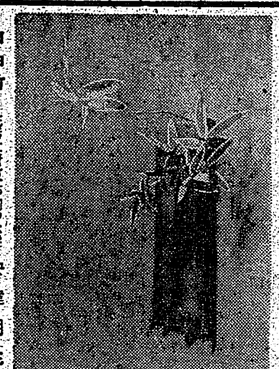
聖武天皇の御代に唐僧鑑眞（カンジン）と渡つて來り、和尚が奈良朝した時、天皇に味噌を獻りまこと一般に製法を傳へたのが、味噌の始まりであるといふ、當時人はその味はひに驚嘆し「未曾有」と感歎したことから味噌の名が起つたといふが、これはあてにならない、おもふに、ミソは未味の意で鳴ち未だしばらくるモロこと解すべきであらう。

今川燒

今川燒は御茶の湯り饅頭の如んん鐵鉢を火にかけ、胡麻油を塗まだ冷てゐるタネを半分ほど流しこみ、次に餡それ、更にその上からまたタネをそそぎ蓋流して焼いたものだが、その形、太鼓に似てゐるので太鼓燒とも、また巴の紋をつけて巴燒、或は賽士燒などと名前さまざまあるが橋間今川燒である。これは文化文政の頃江戸神田今川橋邊りの菓店で賣つてゐたために、この名前が出來たのである。

羊かん

羊かんの名の始めは、今日の如く種々と多いものではない、おもに内地産出中の餡類だけで、殊りの羊羹をもあるものは自由自在に製ることが出來ようる。それぞれ特徴を並べてゐるが、先ず餡の種類つきものである、日く——「これこそ」あられた羊羹とは羊羹が違ひます。それは羊羹餡の製法（製餡法）を主眼點として、



山白竹……花器は竹筒二ヲ間の水盤　安達潮花

女性の體力檢査

若山喜志子

私は強弱ある女流ばかりの講演に、今更の如く驚かされ、また感じ入つて歸つて行つたのであつた、講演者は現代各方面に活躍してゐる有爲な人々であつただけに講演の内容にソツがなく、非常に有益に聽くことが出來て感じ入つた

そのメンバーの一人に竹内茂代女史がおられて女史は女史としての良妻賢母者の立場から實に身にしみる、よい講演をしてそうたことを私はかう感謝してゐる、それは主として現代の日本國民の體力人口問題に關することに就いて話かれたものであつたが他の人々はいざ知らず、私はさういふことに就いては平生深く考へさせられてゐるだけに、今更の如く感銘を深くさせられたのであつた、また竹内女史はその專門とされる體育の方面の研究がどこまでも實地に基礎を置いてゐる點に深く眼を注してをられる所から言葉の句々に自信と力が充ちてゐた、從つて何も知らぬ私たちにも非常によく解るやうに說明してゐながら聽いてゐるものに深く感銘を與へるものであつた、また講座として非常に立派であつた

そして私は話をきながら、また聽いてゐる多くの方々と一緒に考へさせられずにはゐかなかつた

竹内女史はその專門とされる體育が基礎であつてゐるだけに、その方面の研究がどこまでも實地に基礎を置いてゐるだけに、その講演の内容にソツがなく、非常に有益に聽くことが出來て感じ入つた

そのメンバーの一人に竹内茂代女史がおられて女史は女史としての良妻賢母者の立場から實に身にしみる、よい講演をしてそうたことを私はかう感謝してゐる、それは主として現代の日本國民の體力人口問題に關することに就いて話かれたものであつたが他の人々はいざ知らず、私はさういふことに就いては平生深く考へさせられてゐるだけに、今更の如く感銘を深くさせられたの

曉の町 (76)

武田麟太郎作
林唯一畫

おきん (四)

その中の燃火も乏しく、寒い限りであつた。

やがて、客が來たとの報せであつたら、急ぎ足に廻り緣側を上げて、そこへ膳を出すと共に客のポケットに酒手を突込んだ源吉が立つてゐた。

「――おそくなりました」

そこへ彼に、

「――先日は色々とありがたうございました、けふはまた……」

それから

「――ちよつと藝者へ呼んでもらひますか、さうさう淋しい客ばかりぢやつまらないでせう」

客のレビューがはじまつてゐて、佐緣がどこまで來てゐるかなどと、取り出鱈目をいつて、トラックをうちわに煽ぎ出すと早くも

動搖が無くて來た源が悪い上に酒好きの客が重なつて來てしまつて、宿屋中の騷ぎは大變なものであつた。私達はその騷ぎに紛れる樣にそつと席を離れて、廊下へ出ると、ほつと息をついた。

池が氷を通して私達の足許を固めてゐるのである。それが今はトラックが自由に滑走する私達には一向關心のないのである。私達を乘せようと聖壇が揺れたり、ヘツドライトにぼんやり照らし出された板に書き込んだ土産、やはがきの文字が一瞬目に映じて消へ過ぎ去つてしまふ。

「――ええ、あがたう……でも私、これから人に逢はなきやいけないのよ」

「――やれやれ、この强い、鬼さんがいくら言つてもきかないと思つたら何かあるんやないかな、……先だつても、若いかつぎした男と酒を飲んで、醉つた勢ひで何か口走つたやうな氣がするが、それを根に持つてゐるのかな」

「――いや」

言葉數少に、彼は小わきに抱へた大きな紙包をせり上げるやうにした。

「――さあ、早く出ませう」

下駄箱から源さんの履くのを取つて、彼の前へ突出すと、

「――あぶないまま」

と云ふ樣な客の聲に送られ、おきんが彼と一しよに、公園裏へ出た。

木村名人講評

後手二二王には後段のやうでも、後手二二王には後段のやうでも、勝の手段を無力にしてこの局の感想であつた。

この將棋は加藤五段の四六歩といふ作戰が相當の力作であつたため、相當の研究をしてゐたものと思はれるが、同局、九九王、五六金、七五王、五六歩の攻めを打つべく、二二歩、三三王、二三銀から四一王、五六歩、七五歩、七六歩、七七銀、四六金、七八角成同王、四六歩、七五歩、七六歩、七七銀、四六金、七八角成、同王、四八飛、四六歩、七八角成、同王、四八飛、二三歩、五二王、九五角、七三桂、四六金

臺灣日新報
（第二版）（明治卅一年五月九日第三種郵便物認可）　昭和十六年一月二十二日（水曜日）　臺灣日日新報　第一万四千六百七十九號　（一）

南支陸驚各所を猛爆

【南京二十一日發同盟】南支那方面航空隊は二十日午前零時を期して徹底的重慶爆撃を敢行すべく、各機隊はいづれも午前十時までに南京、蕪湖、安慶、九江の各飛行場に集結を了し、午後一時を期して一斉に重慶に向ひ離陸、重慶上空に到達するや、折柄の快晴に恵まれ、各機隊は高度を自由に選定して、或は高空より、或は低空より、或は水平爆撃、或は急降下爆撃を敢行し、重慶市内の軍事施設、飛行場、兵営、軍需工場、倉庫、発電所、兵器廠、交通機関等を徹底的に爆撃、猛火を以て之を包み、全市を焦土と化せしめた、この間敵機の来襲なく、我が方の損害は僅かに二機に過ぎず、敵の損害は地上撃破を含め約五十機に達した、尚ほ二十一日午後にも同日午後の爆撃に準ずる徹底的爆撃を加へ、その大半を焼土と化せしめた

日ソ漁業暫定取極

情報局發表による内容

【東京二十一日發同盟】二十日夜モスクワで我が舘川大使とモロトフ外務人民委員との間に調印された第六次日ソ漁業暫定取極の内容に関する情報局の発表は次の如く簡単にした

日ソ漁業暫定取極成立に関する情報局發表

二十日夜半モスクワにおいて舘川大使とモロトフ外務人民委員との間に調印された漁業暫定取極の要旨を下しとおりである

一、現行漁業条約をその儘今年末まで延長する

二、暫定取極は本年中に締結せらるべき新漁業条約に依つて置換へられる

尚右暫定取極は各年末交渉の際に於ける情勢の変化を考慮して改訂することを得る

事變の前途光明確認

東條陸相の戰況報告

【東京二十一日發同盟】東條陸相は廿一日午後三時より陸軍省に於て記者団と会見、大東亜戦争の現況に関し次の如く語つた

敵の抗戦の特徴に極めて消極的防衛戦術の採用

敵の抗戦の特徴は極めて消極的防衛戦術の採用であつて彼が全面的に我が攻勢に転じて来たことは一昨々年八月北支において我軍が徹底的に出撃せるのみで爾来我軍部部隊なるに拘らず我軍の攻撃に晒されてゐるに過ぎず我軍の攻勢の低下を以つて我軍の攻勢の低下と速断してはならない

【東京二十一日發同盟】東條陸相陸軍省発表

一、昨年度に於ける我国の外国貿易は輸出二十九億七千二百万円輸入三十七億九百万円の輸出超過となつたが、これは昨年中

社說

首相、外相演說と國民の決意
言外の意味を感得すべし

一

東條下村兩相の演說は、いずれも開戰第一年目の春を迎へて第七十六議會開會劈頭に當り二十一日をもつて再開された帝國議會の劈頭に當つて、まさに開戰第二

木下(敏)部隊への感状
上聞に達せらる
燦たり宜昌作戰の武勳

【東京二十一日發同盟】大本營陸軍部十一日午後四時發表

宜昌作戰並びに鄂北作戰に參加し勇戰奮鬪したる左記部隊に對し感狀を授與せらる

感狀

木下(敏)部隊、同配屬部隊、同協力部隊

右木下(敏)部隊の指揮を以て昭和十五年五月より七月に亙る宜昌作戰に參加し顯著なる武勳を樹てたり

【東京二十一日發同盟】大本營陸軍部十一日午後四時發表

宜昌作戰並びに鄂北作戰に參加し勇戰奮鬪したる左記部隊に對し感狀を授與せらる

感狀

木下(敏)部隊、同配屬部隊、同協力部隊

右木下(敏)部隊の指揮を以て昭和十五年五月より七月に亙る宜昌作戰に參加し顯著なる武勳を樹てたり

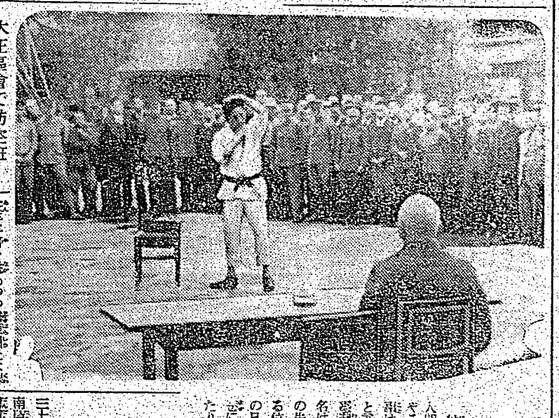
【東京二十一日發同盟】木下(敏)部隊は宜昌作戰に參加して以來連日連夜の強行軍と酷烈なる戰鬪とを續けて前の敵師團に對し徹底的なる痛撃を加へて敵の戰意を挫折せしめ更に敵の退路を遮斷して殲滅的の打撃を與へたり

昭和十五年八月より十一月下旬の間木下部隊主力が南支に轉用せらるるやその一部殘置の三部隊は獨力なる兵力を以て常に積極果敢に行動し國部部隊、協同部隊と密に協力して地上作戰の戰果を大ならしめたり、地上動務部隊又これが宜昌作戰の成果に關聯して不斷不休努く奮鬪し以て常中部隊の戰力擴充に貢獻なかりしめたり、これを要するに木下部隊はその間の不斷なる訓練及び周到なる訓練の成果を發揮し或は敵殲滅戰の壓迫に或は地上作戰の協力に或は敵攻略基地の破壞に或は地上氣象の觀測等を擔當する所にして常に與へられたるその任を果し全體の戰捷に寄與する所大にして常に部隊長は敵情地形に通曉し機を逸せず適切なる指導を行ひ又部下將兵は克く部隊長の意圖を體して勇敢機敏よく困苦缺乏に堪へ以て宜昌作戰に參加し顯著なる武勳を樹てたるものと云ふべくその武勳輝くや木下部隊長を始め部下將兵の勇戰奮闘に對し感狀を授與せらるるに至れるものにして實に當然の事と謂ふべし

昭和十五年十二月十日

支那派遣軍總司令官

西尾壽造



大正區會で防空班長の聯合打合せ會

市內大正町區會では區內各家庭防空班長八十餘班長の聯合打合會を二十日夜築港區役所樓上に開催したが班長一同役所にて晩餐したる後區長藤原鐵藏氏より

一、家屋並に各區會を定期的に開くこと、防空に關しての質問、關係等を爲すること並に班內に於ての和を圖ること、町會役員の選擧を新體制に依て行ふこと、町部落整備成の件等につき打合せ及び注意をなし、更に出席員より施設の質疑等につき有益なる意見續出、防空について協力よりもっと積極的なる活動が望ましいとの希望等も出て時間も忘れて有意義なる會合であった

一際緊張の度加へ
翼贊の熱意漲る貴院
烈々説く首相の顏面は紅潮

【東京二十一日發同盟】二十一日午前十時、貴族院、衆議院は夫々本會議を開き、衆議院は出席議員も非常に多數の熱意を示すかの樣な空氣を漲らし、貴族院は出席者も稀で、殊に閣僚の出席も少なく、議場は寒々とした感じを與へたが、兩院共通して一際緊張の度を加へ、上聞に達せらるる感狀を贈る、二國の所信を聽取するは前途嶮惡といふべく本會議の重要

【東京二十一日發同盟】二十一日午前十時、貴族院、衆議院は夫々本會議を開き、衆議院は出席議員も非常に多數の熱意を示すかの樣な空氣を漲らし、貴族院は出席者も稀で、殊に閣僚の出席も少なく、議場は寒々とした感じを與へたが、兩院共通して一際緊張の度を加へ、上聞に達せらるる感狀を贈る、二國の所信を聽取するは前途嶮惡といふべく本會議の重要性を感ずるは當然である、貴族院では午後四時二十分から開會、衆議院は定刻より十分遲れて開會

臺灣地方行政協會

花蓮港廳新豫算

二十、二十二の兩日花蓮港廳會議室に於て開催された昭和十六年度廳協會において決議確定の昭和十六年度廳豫算左の如し

第一款經常部	五六〇四
第二款臨時部	一〇七九
第三款國民學校費	一三六五
第四款警察費	一三三五
計	四八〇四
臨時部	
第一款國庫補助金	三一〇九
第二款廳債金	三七〇
第三款繰入金	一三〇
第四款繰越金	一三〇
第五款繰入代金	一三〇
第六款雜收入	一三〇
計	四八〇四

第一款廳債費	一〇七
第二款廳會費	一三〇
第三款國庫支出金	一三〇
第四款國庫委任費	一三〇
第五款土木費	一三〇
第六款教育費	一三〇
第七款衛生費	一三〇
第八款勸業費	一三〇
第九款土木費	一三〇
計	四八〇四

第一款地方費繰入	一三〇
第二款雜收入	一三〇
第三款國庫支出金	一三〇
第四款國庫委任費	一三〇
第五款土木費	一三〇
第六款教育費	一三〇
第七款衛生費	一三〇
第八款勸業費	一三〇
第九款土木費	一三〇
計	四八〇四

第一款廳會議費	一三〇
第二款廳債費	一三〇
第三款廳會費	一三〇
第四款廳會費	一三〇
第五款土木費	一三〇
第六款衛生費	一三〇
第七款勸業費	一三〇
第八款雜收入